



FE 試験 (Fundamentals of Engineering Exam)

受験申請予定者各位

日本PE・FE試験協議会 (JPEC)

全米試験協議会 (NCEES)

2026年FE試験(PE一次試験)受験要領

下記要領でFE試験を行いますので、注意事項を熟読の上、受験申し込み願います。

◇ 《受験資格》

日本に在住している日本、若しくは米国の4年制工学系大学卒業者、又は卒業見込の4年生。
さらに取得学位の英文名称※が Bachelor of Engineering または Bachelor of Science in Engineering であること。日本または米国の年金番号を持っていること。国籍が日本である必要はありません。

※生物系、建築系、応用化学系、応用物理系等の場合は上記の英文名称ではない場合があるため予め大学に確認下さい。

日本、若しくは米国の Master of Engineering または Doctor of Engineering の学位を有する方も受験可能です。なお、日本若しくは米国以外の4年制外国大学工学部卒業生も基本的に受験可能ですが、事前にお問い合わせ頂ければ事務局より回答致します。

◇ 《試験科目》 FE試験受験科目は下記7つの科目の中から1科目を選択して記入します

ただし PE試験時の受験科目は、FE試験の受験科目とは無関係に選択可能できます
Chemical, Civil, Electrical and Computer, Environmental,
Industrial and Systems, Mechanical, Other Disciplines

◇ 《試験日》 年間を通じすべての月の任意の日（但し試験場の空席状況による）

◇ 《試験形式》 Computer-Based Testing (CBT)

◇ 《試験地》 Pearson VUE テストセンター<東京、大阪>

◇ 《受験申込締切日》

JPECへの出願締め切りは年4回です。下記の締切日までに申し込み下さい。

締切日は試験日とは関係ありません。

締切日 2月10日、5月10日、8月10日、11月10日 当日消印有効

NCEESアカウント (My NCEES) 登録と、Pearson VUE テストセンターへの受験申込はJPECへの出願後、受験許可が下りた後は随時可能です。

My NCEESへ登録し、試験料を支払うとJPECの最終承認待ちの状態になります。その後1～2週間以内に JPECが最終承認を行った時点で試験料の有効期限のカウントが開始されますので、最終承認後1年以内に受験する必要があります。

NCEESアカウント登録をJPEC出願前に行い、NCEESに受験料を支払うとカウントダウンが開始され、JPECでの受験資格審査が長引いた場合に受験可能期間が短くなったり、受験できなくなる可能性もありますので、必ずJPECの受験許可が出た後にMy NCEES登録を行ってください。

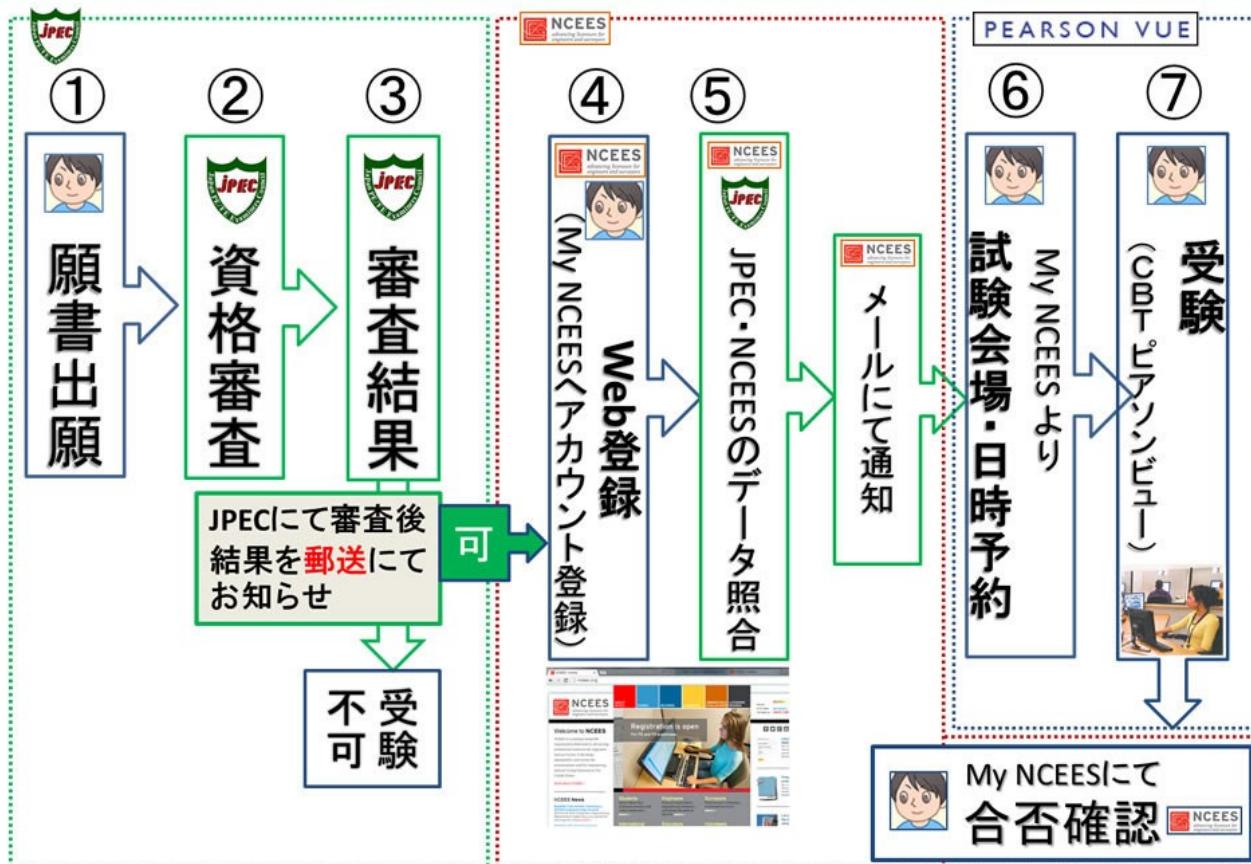
なお一旦JPECの受験許可が下りた方は、その後はスケジュールの変更は可能です。

(JPECの受験許可は有効期限なし、MyNCEESの登録有効期間は1年間)

◇ 《試験言語》 英語

受験申し込みは以下の手順に従って手続き願います。

FE試験申し込み～受験までの流れ



1. 出願から試験までの流れ

- ① **出願** 下記2項に従って出願料を支払いの上、3項に従って願書及び必要書類を JPEC 宛に郵送願います。
- ② **資格審査** JPEC は願書並びに必要書類を確認の上、受験資格の有無を審査します。
- ③ **審査結果** 受験資格の審査結果を約2～3週間の間（都合により前後します）に志願者に郵送します。
- ④ **My NCEES ヘアカウント登録（Web 登録）** 受験許可者は NCEES の Web <https://ncees.org> にアクセスし『My NCEES』画面から必要事項を登録してください。Web 登録はホームページ上の「受験要領」Web登録を参考に行ってください。この登録手続きの際、試験料をクレジットカードで支払ってください。（詳細は NCEES ホームページ上の NCEES EXAMINEE GUIDE を参照）
- ※JPEC からの受験資格審査結果の前に、NCEES の Web 登録を行い、受験料を支払うと有効期間のカウントダウンが始まり、受験料が無駄になる可能性がありますので、必ず JPEC の資格検査結果を受領して後に Web 登録を行って下さい。
- ⑤ **JPEC/NCEES のデータ照合** JPEC/NCEES のデータ照合後、NCEES より E-mail が直接受験者宛に配信されます。その後1～2週間に JPEC による最終承認が行われ、試験会場予約が可能になりますので Web 登録後、会場予約まで少しお待ちください。
- JPEC の最終承認後、試験料は1年間のみ有効ですので、1年以内に受験ください。**
- ⑥ **試験会場予約** NCEES の Web にアクセスし、『My NCEES』画面から受験地と希望試験日の予約をしてください。試験日を変更する場合は、この Web 画面上で行ってください。
- Web 登録、及び試験会場予約後は JPEC が関与することはできませんので、NCEES/Pearson VUE からの連絡、Instruction 等を熟読し、変更がある可能性がありますので、それらに従ってください。**
- ⑦ **受験** 受験生は予約した受験日、受験地で受験します。
- ⑧ **合否確認** 受験後約2週間で NCEES より受験者宛に E-mail が届きますので、受験者は『My NCEES』にログインして、合否を確認して下さい。
- ※ 再受験の場合も①の出願から始まります。

2. 受験料

①出願料、及び ②試験料が必要となります。再受験でも料金は変わりません。

① 出願料（郵便振替）

下記ゆうちょ銀行口座に出願料を振込みください。

一般	25,000 円
大学4年生、大学院生	17,000 円

※ 支払手数料はご負担ください。

※ 紛失防止のために出願料支払の領収書のコピーを副票の裏面に貼り付け、原紙（申込者保存用）は保管下さい。原紙は領収書としてご利用ください。

★ゆうちょ銀行（郵便局）へ出向いて行う場合

ゆうちょ銀行（郵便局）備付けの払込取扱票を使用またはATMの操作をし、下記宛に振込みください。

口座番号：00130-8-781598

口座名称：(漢字) NPO 法人日本P E・F E試験協議会

(カナ) トクヒ ニホンピーイー エフイーシケンキョウギカイ

★ネットバンキング、ゆうちょ銀行以外の金融機関から行う場合

銀行名 ゆうちょ銀行

金融機関コード 9900

店番 019 預金種目 当座

店名 ○一九（漢数字,ゼロイチキュウ）店

口座番号 0781598

口座名称（カナ） トクヒ ニホンピーイー エフイーシケンキョウギカイ

※振込先の口座番号・カナ氏名を必ず確認し、送金人の情報には、住所、氏名を必ず記載ください。

※ JPECよりの受験許可（1. ③）後のキャンセルはお受けできません。また、受験のキャンセルや欠席に関する理由の如何を問わず出願料の返金はできません。但しJPECの資格審査で受験不可となった場合は、出願料は返却致します。

② 試験料（クレジットカード）

NCEESのWeb登録の際にクレジットカード(VISAもしくはMasterCard)で直接NCEESにお支払いください。試験料はUS\$250です。

※ NCEES Web登録後でもキャンセル料を支払うことにより、試験のキャンセルと試験料の返却を受ける事が可能です。条件がありますので、詳細はNCEESホームページをご参照ください。登録後の変更等についてもNCEESへの連絡が必要です。

3. 願書および必要書類、お問い合わせ

下記の必要書類一式を取り揃えて JPEC 事務局まで郵送願います。

日本 PE・FE 試験協議会 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-15-9 石井第3ビル 201号

TEL: 03-3583-8781

E-mail: info@jpec2002.org URL: <https://www.jpec2002.org>

<願書および必要書類リスト>

No	書類名	必要数	✓	説明
1	願書*1 (NCEES Application)	1通		再受験の方を含めこの申込書を使用ください。1枚目の署名は記入した情報に偽りがない事を宣誓するもので署名(筆記体)をお忘れなく。
2	副票*1 (和文の受験申込書)	1通		住所は受験に関する通知連絡手段ですので必ず記入願います。裏面に出願料支払済の領収書コピーを添付ください。
3	大学の卒業証明書 (英文・大学発行のオリジナル)	1通		大学4年在学中の方は、FE試験合格後、翌年度4月30日までにJPEC事務局へ提出願います。
4	大学の成績証明書 (英文・大学発行のオリジナル)	1通		同上。 大学4年間の成績証明書を提出ください。
5	顔写真(5cm×5cm)	1通		裏面に英語/日本語で氏名を記入し、願書に貼付ください。
6	出願料払込み通知書	1通		2. ①項の郵便振替による出願料支払済の領収書コピーを副票の裏面に貼り付けてください。 ネットバンキングから振込まれた場合、ウェブ画面のスクリーンショットを印刷し貼り付けてください。
7	レターパックプラス	<u>必要に応じて</u> 1通		日本以外の大学の出身者で、オリジナル書類をJPECに提出され、返却を希望する場合はレターパックプラスを同封ください。

*1 JPECのホームページ(<http://www.jpec2002.org/>)からダウンロードできます。書類の準備に際してはMENU内にあります関連説明をよくお読みください。

*2 JPEC事務局の受付確認が必要な方は、宛名を記入した返信用はがきを同封ください。願書受領後、返信します。

*3 卒業証明書はBachelor of Engineeringが分かる大学4年間の証明書、成績証明書は工学系講義の取得単位数が分かる大学4年間の証明書を提出ください。大学院まで含めて提出する事をお勧めします

*4 e-mailアドレスの記入に注意ください。0(ゼロ)とo(オー)は区別できるようにしてください。

4. 試験日程

<実施期間>

第1 Window			第2 Window			第3 Window			第4 Window		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

※試験は1年を3ヵ月毎の4つのWindowに分け、すべての月で実施されます。

※実施期間のうち、試験会場に空きがある限り、任意の日に受験することができます。

※各Window1回、12ヵ月間に最大3回まで受験することができます。(毎回、申込が必要です)

＜重要案内事項＞

1. JPECによる願書および必要書類の審査後、NCEESのWeb登録作業を経て最終的に受験許可が得られます。
2. 願書には受験者自身が、受験の際と同一の英文サインを筆記体で書いてください。
(漢字のサインや英文ブロック体は無効です)
3. 英文のNCEES試験願書の姓名欄線上にFirst Name「名前」、ミドルネーム(のある方のみ)のイニシャル、Last Name「苗字」の順に記入願います。(例: TARO, J, SUZUKI)
4. 当日の本人確認は、NCEES/Pearson VUEの説明に従って、写真、及び本人署名付きの公的身分証明証=パスポートを忘れずにご持参願います。日本の運転免許証は署名が入っていないために本人確認用証明書とは認められませんのでご注意ください。
5. 持込可能な計算機について: 試験会場に持ち込み可能な計算機の機種に制限があり、随時変更される可能性があります。詳しくはJPECのホームページから確認ください。
6. Pearson VUEへの試験日の予約が終了すると、Pearson VUEから確認のメールが入ります。メールに受験に際しての説明、注意事項が記されています。これが最終的なInstructionですので、従ってください。
7. JPECは試験サイトPearson VUEに予約された受験者の情報等を同サイトから一切開示を受けることができません。試験予約方法、スケジュール変更、試験当日の受験者確認方法等、サイトに係るお問い合わせはPearson VUEに直接行ってください。

＜PE試験合格後のP.E.ライセンス登録について＞

PE試験合格者は、P.E.ライセンス取得のためには州のP.E.ボードに登録しなければなりません。P.E.ライセンスが登録されて初めてP.E.と名乗ることができます。P.E.ライセンスの登録申請の際には書類審査が行われます。申請を受けた州P.E.ボードは、NCEES^{*1}のVerification List^{*2}を参照し申請者がFE試験、PE試験に合格していることを確認します。そして申請者の申請書類(Application)に申告された大学教育履修内容、業務経験、推薦状などが州のルールに満足しているか審査を行います。米国では大学教育履修条件は、原則としてEAC of ABET^{*3}に認証されていることが決められています。その条件に沿わない場合はNCEES Engineering Education Standard^{*4}の条件に合う必要があります。NCEES Credentials Evaluations^{*5}がその査定をするサービスです。単位不足など履修科目がNCEES Engineering Education Standardの要件を満足しないと判断されると登録できない場合もあります。万一、これらの理由により登録が却下されてもJPECはその責任を負うことが出来ませんのでご了承ください。JPECが願書を受け付けた際に受験志願者の成績証明書を審査し、受理したことは受験許可を与えるものであり、P.E.ライセンスの登録審査のためのものではありません。

尚、登録に必要な要件は州によって異なりますので、各州のP.E.ボードに予めご確認ください。

P.E.ライセンスは更新制度があります。州によって条件が異なりますが、更新時(例2年毎)に更新料支払いとCPD(継続教育、例30時間)報告の要求があります。

米国でP.E.としての業務を行うには、業務を行う州においてP.E.ライセンスの登録を行う必要があります。もしも登録された州以外の州でP.E.の業務を行う時には、Comity P.E. Licensure^{*6}によってその州へのP.E.ライセンスの登録申請を行う必要があります。P.E.ライセンス実施時には様々な権利と義務が生じますので、詳しくは登録する州のP.E.ボードにお問い合わせください。P.E.は、資格ではなくライセンス(免許)なので、米国で個人的に技術コンサルタント等の業務を行う人はP.E.ライセンスを保持する人が多いと言われています。

*1 National Council of Examiners for Engineering and Surveying=全米試験協議会。

*2 NCEESに保存されているFE試験、PE試験の合格者名簿。

*3 Engineering Accreditation Commission of The Accreditation Board for Engineering and Technology。米国の工学教育認証ボードの工学認証委員会。

*4 NCEESが掲げる工学教育標準で大学教育履修条件としてHigher Mathematics(高等数学)とBasic Science(基礎科学)が32単位以上、一般教養(General Education)が16単位以上、Engineering Science(工学科)とEngineering Design(工学設計)が48単位以上を取り決めている。

*5 州P.E.ボードとP.E.ライセンス登録申請者に提供するNCEESのサービス。申請者の大学教育履修条件がEAC of ABETの要求するものと同等であるかどうかをNCEES Engineering Education Standardを基準として審査する。

*6 ある州でP.E.ライセンスを登録している人が他州のライセンスに登録申請を行うサービス。原則、再度P.E.試験を受ける必要は無く、書類審査だけの手続きで済む。